

令和4年4月13日

国土交通省
宮崎河川国道事務所
延岡河川国道事務所
宮崎県警察本部
宮崎県

令和3年度宮崎県道路交通環境安全推進連絡会議を開催しました

宮崎県道路交通環境安全推進連絡会議は、県内の関係者が連携して行う安全な道路交通の環境整備に関して、専門家等も交え、検討を進めることを目的に会議を開催しています。

今回の会議では、**県内における交通事故対策方針**や、事故発生件数が多く、これまでに対策に取り組んできた**国道10号江平五差路交差点改良の整備効果**、**生活道路対策**等に関して、下記の通り書面審議にて開催しました。

- 議題：①事故危険箇所の事業進捗報告
- ②事故危険区間リスト更新の審議
- ③江平五差路交差点改良の整備効果報告【別紙1・2参照】
- ④新名爪北交差点対策の審議
- ⑤生活道路対策（ゾーン30プラス；えびの市実験結果）の報告

※新型コロナウイルス感染拡大によるまん延防止等重点措置期間中（令和4年1月21日から令和4年3月6日）だったため、議題は書類審議

■審議結果：了承

※会議資料掲載：<http://www.qsr.mlit.go.jp/miyazaki/douro/kaigi/index.html>

記者発表クラブ

宮崎県政記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 九州地方整備局 宮崎河川国道事務所

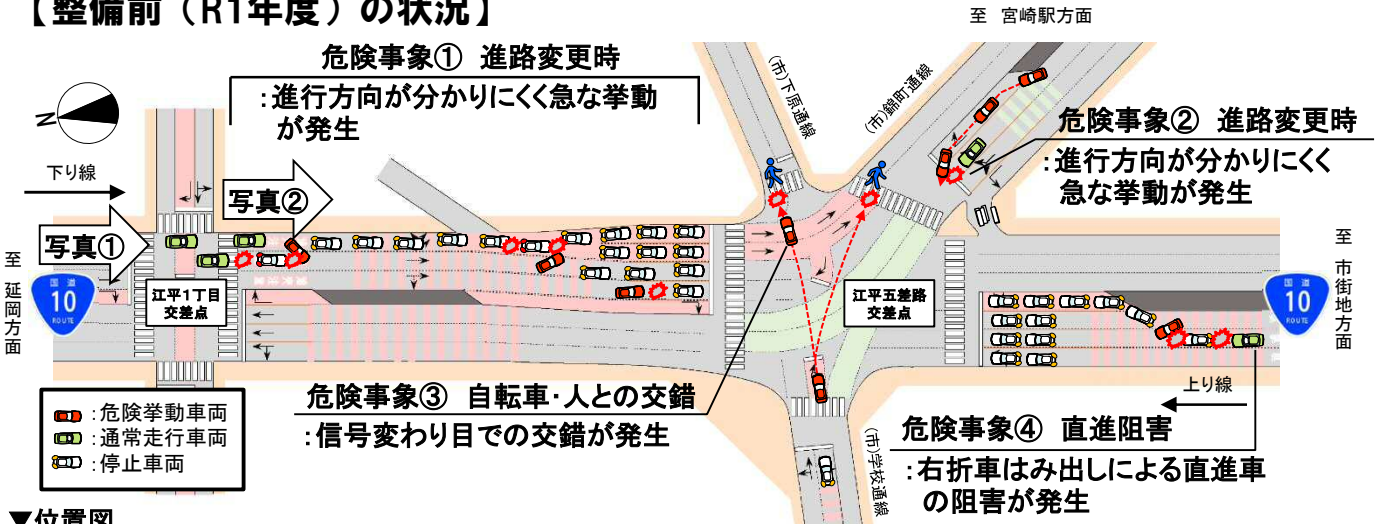
TEL：0985-24-8221（代表）

技術副所長 はまた 濱田 たつや 達哉 建設専門官 まつい 松井 とおる 達

■江平五差路交差点で発生していた主な事故

江平五差路交差点は五差路のため、進行方向が分かりにくいことや、信号変わり目に交差点へ進入した車両が交差点内を抜けきれないこと、また右折車のはみ出しにより後続車を阻害することによる事故が多発していました。

【整備前（R1年度）の状況】

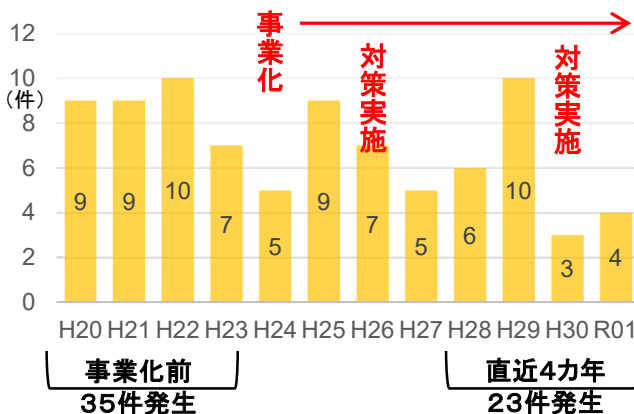


▼位置図

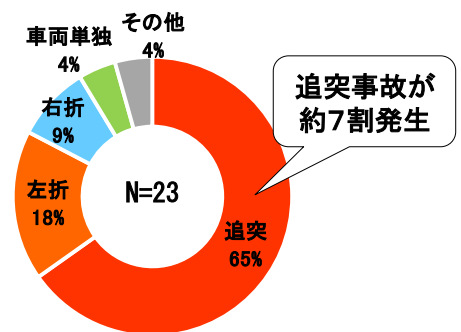


上図出典:地理院地図

▼事故発生件数推移



▼直近の事故類型(H28-R1)



参考:イタルダ事故データ (H20-R01)

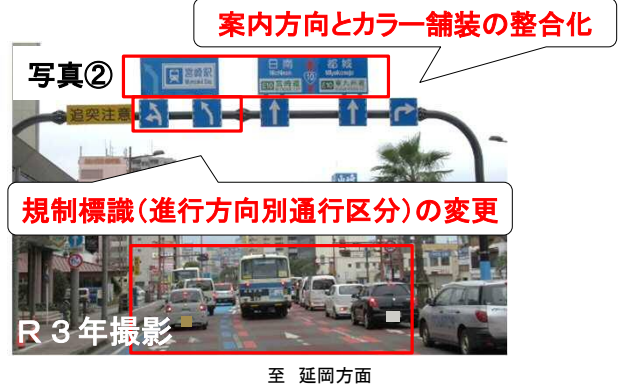
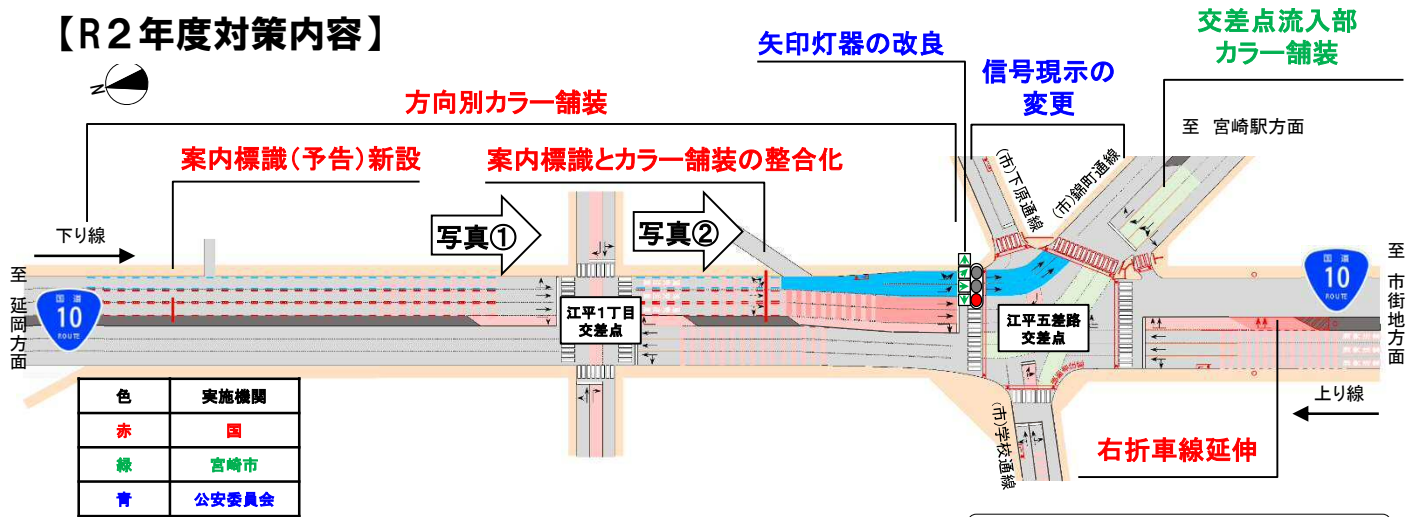
対策年度	対策案
H26	・横断歩道の改善 ・左折レーンの設置(1車線⇒2車線化) 等
H30	・注意喚起看板 ・路面標示「追突注意」 等

■実施対策(R2年度)・整備効果

これまで実施してきた対策に加え、R2年度には、**方向別カラー舗装**や**案内標識改良**（カラー舗装との整合化）、**右折車線延伸**、**信号改良**等を警察・宮崎市と協力し、実施しました。

整備後は、進行方向に対する**誤進入車両が約4割減少**、**右折車はみ出しによる後続車阻害は約9割減少**、**交差点進入車両と横断歩道の歩行者との錯綜は解消**となり、危険事象が減少しました。

【R2年度対策内容】

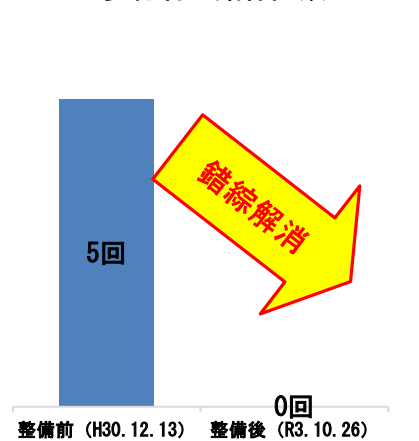
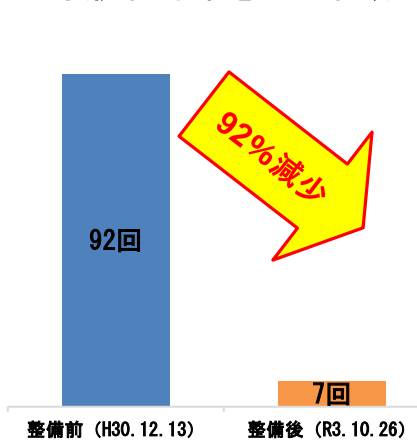
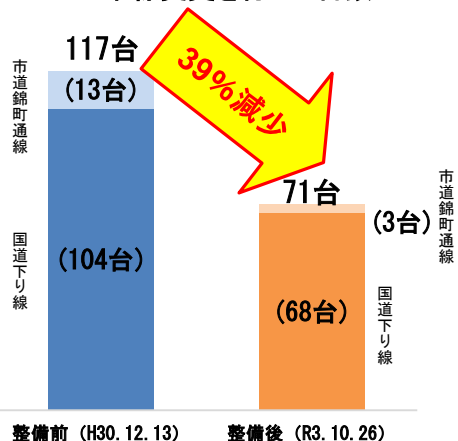


【整備効果】

▼進行方向に対する誤進入から車線変更を行った台数

▼右折車線からはみ出しにより後続車へ阻害を与えた回数

▼横断歩道における車両と自転車・歩行者の錯綜回数



※国道10号下り線と市道錦町通線の車線変更台数を合算
 国道10号下り線 12時・15時・16時の計3時間にて計測
 市道錦町通線 7時～19時の計12時間にて計測

※国道10号上り線側
 (10時・16時・18時の計3時間にて計測)

※7時～19時の計12時間にて計測
 (市)学校通線の全赤時間における(市)下原通線・(市)錦町通線の横断歩道上にて計測